

株式会社さじ式拾壺 経営状況報告書

1. 法人の概要

- | | | |
|---------------|---|---|
| (1) 名 | 称 | 株式会社さじ式拾壺 |
| (2) 目 | 的 | 過疎化に伴い、農林業をはじめ地場地域産業の従事者の高齢化および、後継者不足が顕在化し、農林地の荒廃、離農などの農林業の衰退傾向が続いている佐治村(現:鳥取市佐治町)で、地域住民の生活を守り、地域産業の振興を具体的なものとするため、行政や地元企業をはじめ多くの方の出資のもと設立。 |
| (3) 設 立 年 月 日 | | 平成7年1月30日 |
| (4) 資 本 金 | | 金30,000,000円(うち鳥取市出資金16,500,000円) |
| (5) 役 員 | | 取 締 役 8名
監 査 役 2名
代表取締役 茂 上 正 道 |
| (6) 事 務 所 | | 鳥取市佐治町加瀬木2519番地3 |

2. 令和6年度経営概要

1. 概要報告

佐治町全体が令和5年8月の台風第7号直撃からの復旧に取り組む中、株主と地域住民の期待と信頼に応える為、各事業の計画達成へ努めてまいりました。今年度の事業結果としましては、計画 62,453 千円に対して 85,094 千円の収入実績（計画比 136%）となり、最終的に当期純利益は 10,855 千円の黒字となりました。

以下各事業の経過を報告いたします。

（1）農林事業

作業収入 24,220 千円の計画に沿って事業促進してまいりました。

農作業受託・農地維持管理事業では、長年の赤字経営を改善すべく、維持管理料の新設、消耗品などの経費削減、細目なメンテナンスによる修繕費削減、効率的な事業構成・人員配置・スケジュール管理を行うなどの経営の健全化へ向けた取り組みを行いました。台風第7号の影響などで受託料は微減となり作業収入 7,799 千円の計画に対し 7,460 千円の収入実績となり、計画比 96%でした。経営状況は改善傾向ではありますが、▲795 千円の赤字となっており、引き続き、経営改善に努めて参ります。

道路管理部門では、作業員確保が大変厳しいなか、常勤職員を中心に受託体制を維持し、災害復旧作業、除雪作業、凍結防止剤散布作業などによって利益を確保することができました。

農林事業全体では、作業収入 24,220 千円の計画に対し 45,461 千円の収入実績となり計画比 188%となりました。

（2）観光事業

営業収入 27,433 千円の計画に沿って事業促進をしてまいりました。

山王谷キャンプ場・たんぼり荘の運営では、台風第7号被災の影響による施設機能、周辺環境の修繕も進み、客足も戻りつつありますが、コロナ前・被災前の客足数の回復には遠く、引き続き団体客取り込みの施策、魅力的なプランの作成および広報を強化してまいります。

佐治町B&G海洋センター・佐治町多目的運動広場管理業務では、地域の方々の健康増進や居場所となるような施設運営を心掛け、B&G財団と連携した事業を積極的に行い事業評価Aを取得しました。特産品部門におけるどぶろく製造では、積極的に出張販売を企画し、道の駅での委託販売を開始したことで、前年対比 116%（441 本販売）の販売実績となりました。また新たな特産品として自社清算のお米と麴を使用した甘酒、塩こうじを販売し、ご好評いただきました。引き続き、新製造場における効率的な製造とインターネット販売に加えて、販売期間の延長を視野に入れた製造・販売量増と利益の確保に努めてまいります。

通年の管理運営業務を受託したコスモスの館管理運営事業につきましては、アストロパークと連携した施設運営を心掛け、アストロパークに訪れたお客様への食事の提供や、地域や小学生を対象とした体験教室などを開催することで、利用いただいた皆様からご好評いただきました。

観光事業全体では、27,433 千円の計画に対し 28,050 千円の収入実績となり計画比 102%となりました。

（３）その他事業

営業収入 10,800 千円の計画に沿って事業促進をしてまいりました。

買い物福祉サービス支援事業では、トスク全店閉店や移動販売事業者の相次ぐ撤退のなか、地域の方々のニーズに対応するべく、きめ細やかな対応を心掛け事業を実施したことで地域の方々よりご好評いただきました。

切手・ゆうパック事業では、梨農家の減少による進物取り扱い数の減少はあるものの、的確な人員配置による経費削減を行い事業を実施いたしました。

その他、地域に根差した企業の役割として、小中学校における職場体験受け入れなど郷土愛を育む教育への協力を行いました。

その他事業全体では、10,800 千円の計画に対し 11,584 千円の収入実績となり計画比 107%となりました。

貸借対照表

株式会社 さじ式拾壹

令和 7年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 72,113,931】	【流 動 負 債】	【 13,520,550】
現 金	105,000	未 払 金	6,973,183
預 金	67,705,985	未 払 法 人 税 等	3,306,800
売 掛 金	3,827,319	預 り 金	250,967
商 品	341,366	未 払 消 費 税 等	2,989,600
前 払 費 用	48,902	負 債 合 計	13,520,550
未 収 入 金	13,193		
立 替 金	94,166		
貸 倒 引 当 金	△22,000	純 資 産 の 部	
【固 定 資 産】	【 4,929,348】	【株 主 資 本】	【 63,522,729】
(有 形 固 定 資 産)	(4,433,714)	資 本 金	30,000,000
建 物 附 属 設 備	621,492	(利 益 剰 余 金)	(33,522,729)
機 械 装 置	1,262,353	そ の 他 利 益 剰 余 金	33,522,729
車 両 運 搬 具	1,590,615	繰 越 利 益 剰 余 金	33,522,729
工 具 器 具 備 品	676,800		
一 括 償 却 資 産	282,454		
(無 形 固 定 資 産)	(495,634)		
電 話 加 入 権	72,800		
その他の無形固定資産	422,834	純 資 産 合 計	63,522,729
資 産 合 計	77,043,279	負 債 ・ 純 資 産 合 計	77,043,279

損益計算書

株式会社 さじ式拾壹

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売上高】		
売上高	54,911,332	
委託料収入	19,190,912	74,102,244
【売上原価】		
期首棚卸高	478,867	
仕入高	8,008,584	
* * 合計 * *	8,487,451	
期末棚卸高	4341,366	8,146,085
売上総利益金額		65,956,159
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	840,000	
給与手当	28,699,042	
法定福利費	3,404,608	
福利厚生費	2,109,537	
外注工賃	329,231	
旅費交通費	56,211	
通信費	594,102	
交際費	9,752	
減価償却費	2,266,616	
賃借料	569,082	
保険料	1,049,232	
修繕費	2,715,269	
水道光熱費	2,480,914	
車輻関係費	2,437,093	
消耗品費	2,708,066	
租税公課	250,650	
広告宣伝費	143,862	
支払手数料	665,053	
諸会費	98,840	
貸倒引当金繰入額	2,000	
リ－ス料	152,736	
会議費	47,004	
雑費	1,819,909	53,448,809
営業利益金額		12,507,350
【営業外収益】		
受取利息	27,274	
補助金収入	2,838,912	
雑収入	962,725	3,828,911
【営業外費用】		
雑損失		1,484,760
経常利益金額		14,851,501
税引前当期純利益金額		14,851,501
法人税、住民税及び事業税		3,996,471
当期純利益金額		10,855,030

第 32 期（令和 7 年度）事業計画（案）

令和 7 年 4 月 1 日から

令和 8 年 3 月 31 日まで

〔基本方針〕

世界的なエネルギー・食料価格の高騰など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増しているなか、佐治地域においても、過疎・高齢化をはじめ地域を取り巻く課題は待ったなしの状況です。

株式会社さじ式拾壺は、地域住民の皆様の生活を守るための丁寧かつスピード感のある事業展開に併せまして、急激な社会変革の時代に適応した持続可能な企業であるための強固な経営体質づくりを目指し、役職員一丸となり、地域住民及び株主の皆様との期待と信頼に応えられる事業体制の構築に努めてまいります。

〔事業実施方針〕

佐治町内を中心とした地域振興及び産業振興事業の推進

1. 農林作業受託事業の推進
2. 関係住民及び団体等からの受託事業
3. 指定管理施設の管理受託事業
4. 公共施設の維持管理受託事業
5. 農林水産物の生産及び販売事業
6. 買い物福祉サービス支援の推進
7. その他各種受託事業の推進

[事業実施計画]

1. 農林事業

農作業部門における農地保全の取組のなかで、遊休農地の維持管理における維持管理料および中山間地域直接支払制度の活用、業務内容の整理、人員配置など見直すことで収支改善に努める。果樹剪定業務では、若手梨農家にも積極的に声がけを行い受注体制を強化する。収益部門である道路管理受託に於いては、年々増加している作業量に対応すべく作業員の確保・育成が急務であり、必要に応じた設備導入と合わせて進めていくことで、事業拡大を図る。

2. 観光事業

山王谷キャンプ場・たんぼり荘管理運営では、インターネット予約システムやSNSを積極的に活用した一般ファミリー層の獲得、小中学校の体験学習や団体顧客の取り込みによる平日の施設稼働率向上を図る。また人材繁忙期の施設管理・体験部門の強化による収益増、利用者の満足度向上と共に、町内団体と連携し佐治町の観光振興に繋げる。

佐治町B&G海洋センター・佐治町多目的運動広場管理運営業務ではB&G財団の事業を積極的に活用し、佐治地域の健康増進、スポーツ振興に取り組む。また今年度は、B&G中国ブロック海洋センター連絡協議会の事務局であることから、鳥取市生涯学習・スポーツ課、B&G財団、中国5県にある54か所の海洋センターとの関係を深めながら事業を実施する。

特産品販売部門におけるどぶろく「どんでん返し」の製造・販売では、オンラインショップなどを活用したインターネット販売の強化と、販売期間の延長による製造数量増加、姉妹品である甘酒・塩麴などの販売を行うことで認知度向上を図る。

3. その他事業

ゆうパック事業では、梨農家減により進物の集荷個数は減少傾向であるが、チラシ配布による再PRと、繁忙期における的確な人員配置による経費削減で利益の確保を図る。

買い物福祉サービスでは、店舗の閉鎖、移動販売業者の撤退などで増加する需要に対応しつつ、業務内容の工夫と効率化によって収支の改善を図る。

全事業において、おおむね経営基盤は強化されつつあるが、慢性的な労働力不足が深刻化している。労働力確保・人材育成を最重要課題と位置づけ、優秀な人材の確保に向けた施策を強化し、事業継続・拡大を図る。

[総務管理方針]

1. 経営管理の重点事項

(1) 財務管理

- ①自己資本の充実を図るため、資金の内部留保と諸引当の完全引当に努める。
- ②在庫品の圧縮と資金回転率の向上。
- ③不採算部門の改善。

(2) 経営管理

- ①部門別責任を明確にし部門採算の確立に努める。
- ②経営検討委員会及び取締役担当の3つの部会を定例開催し管理の徹底を図る。
- ③業務、事務の合理化、適正配置、労務率の改善を図る。

(3) 人事労務管理

- ①職場内教育体制を整備し、人材育成を推進し、信頼される社員を養成する。
- ②責任権限の明確化、職場規律、職場倫理を確立する。
- ③働きやすい職場環境を整え、会社の生産性向上へ繋げる

2. 設備計画

(単位：千円)

施設機械名	規格	台数	取得予定金額	備 考
移動販売車		1	4,640	中山間地域・買い物支援事業補助金 3,000 千円

3. 自己資本充実計画

(単位：千円)

	前期末実績	本期末計画	備考
資本金	30,000	30,000	
当期純利益金	10,855	100	
繰越利益剰余金	33,522	33,622	
純資産合計	63,522	63,622	

株式会社さじ式拾巻 令和7年度収支計画

1.収入の部

(単位：千円)

項 目		本年計画 (①)	前年計画 (②)	増減 (①-②)	備 考
農 林	農作業・精米機管理	7,833	7,799	34	
	水稻受託	4,049	4,011	38	田植え3.08ha,稲刈4.97ha + 農地維持管理料21.6万
	果樹受託	1,663	1,735	▲ 72	前年並み12件
	水稻経営	1,922	1,768	154	[R7]104.3a/[R6]87.3a
	雑収入	198	285	▲ 87	中山間直接支払交付金
	道路管理・森林作業	16,081	15,621	460	
	市有地管理	4,380	4,702	▲ 322	土地開発公社、産業建設課、鳥取市林務水産課
	森林作業	350	500	▲ 150	0.14ha
	除雪	11,081	10,031	1,050	除雪車全機出動6回（180H）、凍結防止剤散布65日
	雑収入	270	388	▲ 118	除雪機械運転手育成支援事業 大特免許3名
	その他受託	2,020	800	1,220	定例受注現場（個人墓掃除等）+ 作業員派遣
	農林事業合計	25,934	24,220	1,714	
観 光	たんぼり荘	7,996	8,499	▲ 503	
	利用料	3,516	4,019	▲ 503	利用者数(R7計画2,695人 /R6計画2,968人)
	指定管理料	4,480	4,480	0	
	BG	10,980	10,880	100	
	利用料	350	300	50	[R7]13,450人 / [R6]9,900人
	指定管理料	10,380	10,380	0	
	雑収入	250	200	50	自販機売上、BG中プロ事務局実費
	特産品	1,122	1,428	▲ 307	
	営業収入	1,122	1,428	▲ 307	どぶろく販売本数（[R7] 440本 / 実績ベース） 甘酒・塩麴などの販売
	コスモスの館	6,240	6,626	▲ 386	
	委託料	4,240	6,026	▲ 1,786	7月～
	営業収入	2,000	600	1,400	宿泊利用200名、食堂利用600名（実績ベース）
	観光事業合計	26,338	27,433	▲ 1,095	
そ の 他	買い物支援	12,844	8,100	4,744	
	売上	6,800	5,600	1,200	見守り件数240件（R6年並み）
	補助金	6,044	2,500	3,544	
	切手・ゆうパック	1,920	1,880	40	取扱数(R7 計画1,080個（R6実績×90%）
	事務受託・その他合計	310	820	▲ 510	
	土地改良区	0	250	▲ 250	R6年度で解散
	雑収入	310	570	▲ 260	キャリアアップ助成金補填
	その他事業合計	15,074	10,800	4,274	
総 合 計		67,346	62,453	4,893	

2.支出の部

(単位：千円)

項 目	本年計画 (①)	前年計画 (②)	増減 (①-②)	備 考
役員報酬	720	960	▲ 240	代表取締役、役員責任給
給与	20,917	20,042	875	最低賃金引上げに伴う賃上げ
賃金	8,041	9,421	▲ 1,380	臨時雇用職員 R6実績ベース+農繁期1名増
法定福利費	3,035	2,950	85	社会保険料
福利厚生費	1,921	1,953	▲ 33	中退共掛金、大特免許取得3名
租税公課	3,084	3,447	▲ 363	消費税、酒税ほか
水道光熱費	2,651	2,859	▲ 208	電気、水道代、ガス、灯油 R6実績ベース
旅費交通費	54	123	▲ 69	BG会議出張旅費
通信費	738	620	118	電話、インターネット、コピー代、切手代 BG分増
宣伝広告費	28	9	19	チラシ印刷、折込
接待交際費	0	6	▲ 6	
会議費	100	73	27	株主総会費用
損害保険料	1,052	1,068	▲ 16	事業保険・自動車保険・施設来場者保険など
修繕費	3,198	2,817	382	農機具点検・修繕費100万、除雪修繕25万、指定管理施設 小規模修繕100万、施設点検40万ほか
消耗品費	1,640	1,263	377	R6実績ベース
外注工賃	220	137	83	ヘリ農薬散布、警備員、植物園
支払手数料	722	678	45	JAライスセンター手数料12万、サイト手数料14万(たんぼ り、特産品)、税理士23万、労務士13万など
車両費	2,270	2,360	▲ 90	燃料費、除雪作業量で試算
リース料	308	158	150	コピー機、冷蔵冷凍庫
諸会費	119	85	34	R6年実績並みで計画
賃借料	328	316	13	JA選果場27.5万、個人トラクター・個人乾燥機借上
雑費	1,642	525	1,117	コスモスの館宿泊料、ダスキン、ごみ処理費用など
雑損失	253	300	▲ 47	除雪作業による修繕
減価償却費	2,353	2,309	44	レザコン3万、畦草刈り機5.5万、ハンマーモア22万、軽ト ラ30万、P C25万、ダンプ63.6万、凍結防止剤散布機12 万 ほか
貸倒引当金	2	78	▲ 76	実績ベース
法人税等	246	246	0	所得によって変動
仕入	8,604	7,547	1,057	苗、農薬、食材、買い物支援 コスモス増 実績ベース
圧縮損	3,000	0	3,000	移動販売車補助金分
総 合 計	67,246	62,349	4,897	
収入-支出	100	104	▲ 4	